

◇ 動詞は活用が「ある」(「活用する」)よ！

その「活用」のしかた(活用の様子)をしっかり「口ずさめる」ようになることがポイント！>(^▽^)

教科書の文法(品詞、動詞)ページに、たぶんこのような表が載っていることでしょう。

書く	
書か	語幹 ごかん
こ か	ウ ナイ 未然形 ヨウ
いき	タ マス 連用形
く	終止形
く	トキ 連体形
け	バ 仮定形
け	命令形

隅から隅まですっかり同じではないと思うけど、このような表、見つけたかな？
「書く」ではなく、別な動詞が使われているかもしれないね。

・「語幹(ごかん)」とは：単語(動詞なら動詞)の、活用されない部分。
例えば「書く」という動詞なら、「書かない」「書きます」など、
「書く」の“く”の部分に変化していき、「書(か)」の部分は変化しないよね。
↑ここが「語幹」。

・「未然形」「連用形」などの隣にあるカタカナの語は、
その語につながるように、動詞を活用させてね>(・▽・) という語。

例えば、「未然形(みぜんけい)」は、
書く + ナイ → 書 “か” ない 書く + ウ → 書 “こ” う
だから、「か」と「こ」が表の中に入っているというわけ。

「連用形(れんようけい)」「連体形(れんたいけい)」「仮定形(かていけい)」
についても、なるほど、なるほどと思いながら確認してね(^o^)

・「終止形(しゅうしけい)」は、「。(まる、読点)」につながる形。
「言い切りの形」などと書かれているかも。
「書く」という動詞なら、「書く。」ね。英語で言えば「原形」。
つまり、何も変化していない、辞書に載っている時の形ね。

・「命令形(めいれいけい)」は、文字通り、命令する時の形。
書け。読め。歩け。走れ。泳げ。跳べ。(▽)疲れてきたね。休め休め。

「活用」の表の見方をつかめたら、いろいろな動詞をどんどん活用させて、口ずさんでみよう♪

《例えば、「書く」、「読む」という動詞を活用させると…》

書かない、書きます、書く、書くとき、書けば、書け、(上に戻って)

書こう、書いた

読まない、読みます、読む、読むとき、読めば、読め、(上に戻って)

読もう、読んだ

「上に戻って」というのは、表に沿って未然形(ナイ)、連用形(マス)…と下がって行って、命令形までいったらまた上に戻って、未然形の「ウ、ヨウ」、連体形の「タ」につなげる、という流れになっているんだよ。

上に戻らない口ずさみ方もたぶんあるけど、この「上に戻って」という流れのほうが、次(No. 4)の「動詞の活用の種類」というのがつかみやすくなるので、ここではお薦めします(^▽^)

📖 練習 📖 他にもいろいろな動詞を活用させて、口ずさんでみてね！口ずさまない、口ずさみます…♪